

第 12 回：第 10 章（営業・投資・財務活動による C F の把握）

今日のテーマ

- ① 各 CF の意義
営業CFとは？
投資CFとは？
財務CFとは？
- ② 15 回の計算問題は確実に満点取れるように
- ③ リース・先物・消費税・外貨建は難しいので練習問題の 10.6(1)(2)のみ説明
- ④ 練習問題 10.1～10.5 をじっくり解説

① 各 CF の意義

★営業CFとは？

次の3つに分かれる

1. 営業損益計算対象の取引

(売上収入・仕入支出・人件費など経費支出)

営業活動による債権債務から生じるCF

2. (営業受取手形の割引) 財務CFに入れないのは比較可能性の観点

3. 投資・財務活動以外のCF

(損害賠償・保険金収入 etc)

直接法と間接法 (テキストの形式は押さえておこう)

直接法→営業活動によるCFが総額で把握できる

間接法→実務上手間がかからない、会計利益とCFの関係が明らかになる

★投資CFとは？

将来の利益獲得及び資金運用のためのCF

(どの程度投資しているか？過去の投資が中止されているか？が明らかになる)

営業譲渡・譲受は投資CFに含まれる (テキストの詳細はいいでしょう)

★財務CFとは？

営業活動・投資活動を維持するためにどの程度の資金が調達され返済されたかを示す

② 15 回の計算問題を解いてみよう

【第 4 問】 次の＜資料＞は、商品の仕入、売上に関連するものである。＜資料＞に記載した以外の項目は考慮しないものとして、下記の設問に答えなさい。(12 点)

＜資料＞

(単位：千円)

当期商品売上高	1,000
前期末売上債権残高	300
当期末売上債権残高	320
当期商品仕入高	800
前期末商品残高	140
当期末商品残高	160
前期末仕入債務残高	100
当期末仕入債務残高	80

- 問 1 税金等調整前当期純利益を計算しなさい。
- 問 2 商品売上収入を計算しなさい。
- 問 3 商品仕入支出を計算しなさい。
- 問 4 営業活動によるキャッシュ・フローを計算しなさい。

③ 表示区分の留意事項

★法人税にかかるCF

営業・投資・財務に区分するのは実務上困難なので主要な課税源泉である営業CFに表示する。

★利息・配当に係るCF

前回説明通り

★リース取引（練習問題 10.6）

元本→財務活動、利息→選択した表示方法

※利息相当額を区分計算していない場合は支払リース料総額を財務CFに

※オペレーティングリースは営業CF

※貸し手は本業なら営業CF、それ以外は投資CF

★先物契約等（練習問題 10.6）

リスクヘッジの場合→ヘッジ対象と同一区分（売上債権の為替予約は営業CF）

リスクヘッジ以外→投資CF

★消費税・外貨

かなり複雑なので割愛します（出題されても没問でしょう）

④ 練習問題を解説します

10.1 営業活動によるCFの把握方法

→直接法と間接法の2種類がある。

直接法とは・・・長所、短所・・・

間接法とは・・・長所、短所・・・

日本では間接法が採用されているケースが多い

10.2 法人税等→営業活動によるCF 理由は・・・

利息・配当→PL面から、元の取引との関連から

継続適用を条件に選択制

10.3,4,5→ホワイトボードで解説します